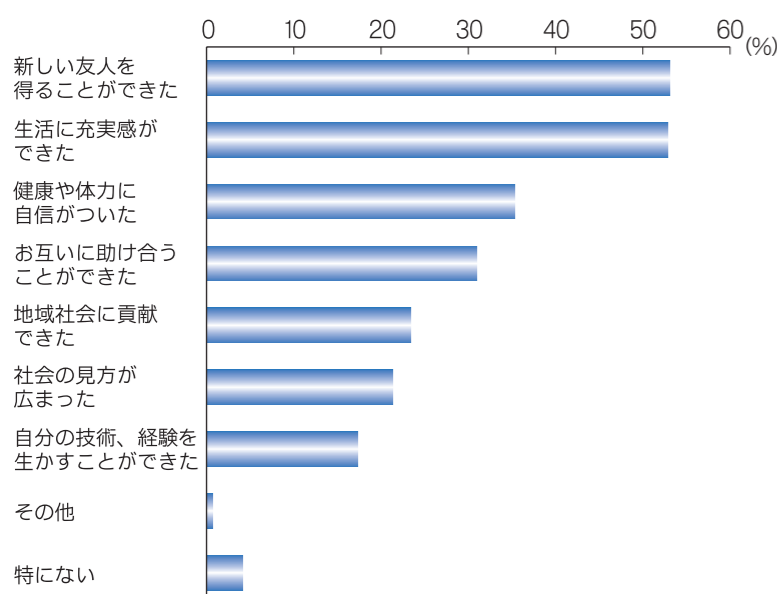


グラフ2 社会活動に参加して良かったこと



備考
 1. 内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」（2003年）により作成
 2. 「あなたは、この一年間に個人または友人と、あるいはグループや団体に自主的に行われている次のような活動に参加したことがありますか。」という問いに対して、何らかの活動に参加したことがある人に、「あなた自身にとって、そのような活動全体を通じて、参加して良かったと思うのは、どのようなことですか。この中からいくつか選んでください。」と尋ね、回答した人の割合。

国民生活白書によると、何らかの活動に参加したことがある60歳以上の男女1,566人に「社会活動にへ参加して良かったこと」を尋ねたところ、多かった回答が、「新しい友人を得ることができた」、「生活に充実感ができた」となっています(グラフ2)。このことから、地域活動などの社会活動への参加は、新しい自分の生き方を見つける手段とな

「ウイズ」の活動に参加してみませんか

っていることがわかります。また、今まで培ってきたあなたの能力を生かすこともできるでしょう。
 彦根市では、男女共同参画センター「ウイズ」や公民館などで、さまざまな事業を行っています。また、自治会に代表される地域活動やボランティア活動に参加することも新しい生き方となっています。まずは、参加してみませんか。

座談会 in 「ウイズ」

これからの生き方について

3月に開催される男女共同参画フォーラムを企画する実行委員会が「ウイズ」で開かれました。実行委員会には、男女の役割について関心があったり、生きがいを見つけたたりするために、仕事以外で活動をしている人たちが集まっています。実行委員の皆さんにこれからの男女の生き方について聞いてきました。

今回お話を伺った皆さん
 木ノ内江以子さん、赤部秀男さん、寺村尊子さん、福井英彦さん、本田忠光さん、吉田正人さん、米田紀代子さん
 (50音順)

男女の性別役割分担についてどう思いますか

吉田 「自立」という面では、男女どちらにとっても、パートナーが病気などになれば、たちまち家事などはしなくていけなくなるので、それぞれの生活の自立は必要だと思います。役割は決めてしまわずに、どちらもできる方がいいと思います。

福井 夫婦共働きで、今は、私の方が家に帰るのが早いので、私がか



▲活発に意見が飛び交う男女共同参画フォーラム実行委員会

事などをしていきます。以前は、妻の方が早かったのですが、家事は妻がしていました。逆の立場になり、初めて分かることもあります。今は、充実感もあるし、この経験は、今後に生かせると思います。
 米田 男性が家事などをするだけが男女共同参画ではないと思います。銀行への交渉など、対外的な交渉は、男性がしていることが多いですね。社会的なことも平等に

「ウイズ」でヒントを見つけよう！

男女共同参画センター「ウイズ」は、性別に関わらず個性が尊重され、一人ひとりが輝いて生きられる男女共同参画社会を目指すための拠点施設です。「ウイズ」では、下記の事業を中心にさまざまな取組を行っています。一度のぞいてみませんか。

問い合わせ先
 ☎24-3529
 (FAX共用)

ウイズ講座

男の料理教室や法律講座、コミュニケーション講座など、さまざまな講座を開催しており、男女共同参画について学習ができます。興味がある講座があれば、まずは参加してみませんか。

男女共同参画フォーラム

家庭、職場、地域など自分のまわりで気づいたことやちょっとした疑問などを、学習したり話し合ったりする「つどい」の場です。企画や運営は、公募委員による実行委員会が手作りで行います。今年度は3月9日(日)開催予定です。



▲昨年度の男女共同参画フォーラム

ウイズ相談室

女性、男性を問わず、仕事や家庭、人間関係などに関するさまざまな悩みの相談に応じています。個人のプライバシーは守られます。

相談専用ダイヤル
 ☎21-5757

総合相談(面接相談・電話相談いずれも予約なしで受けられます)
 相談日時 毎週水・木・金曜日13:00~16:00
 こころの悩み相談
 臨床心理士が、こころのさまざまな相談に応じます。
 相談日時 毎月第4月曜日13:00~16:00(予約制)
 ※相談は、いずれも祝日・年末・年始を除く

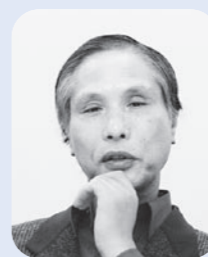
広報誌「かけはし」

公募による編集委員が、企画・執筆・編集を行い、毎年2月に発行しています。

そのほかにも、「ウイズ」では、登録団体によるさまざまな活動をしており、参加者を募集している団体もあります。

気軽に参加してください

男女共同参画フォーラム実行委員
 赤部秀男さん



今まで家事は妻まかせでした。これは私だけでなく、私たちの世代では多いと思います。しかし、今後、夫婦二人ともが、ずっと元気でいられるとは限りません。核家族で、子どもとは同居していませんので、妻が病気になったときは、すべてを自分でしないといけない。このため、このまま家事全部を妻まかせではいけない、団塊の世代の男性も、これからの生き方について考え直さないといけないと思い、実行委員に応募し、参加しています。実際に参加してみても、仕事とは違う人たちの交流があり、新鮮な気持ちで話ができている、なかなか参加するまでに至らない人も多く、何かしようと悩んでいるが、なかなか参加するまでに至らない人も多くいると思いますが、気軽に参加されればと思います。

女性もしていくなど、男女がともに責任を持つことが大切だと思います。

退職後の生きがいを見つけているために何か始めていますか

本田 退職した後、田や畑があるわけではないので、地域でのボランティア活動や、NPO活動をしたと思っています。そのためには、1~2年では準備ができず、5~10年の期間を要すると考えているので、今から活動をしています。
 木ノ内 私の親は、退職後も働きに当たり、いろいろな講座を受け

たりと、社会との関わりを持ちながら好きなことをしています。好きなことをしている人は元気ですね。健康が一番だと思いますが、外で活動することが、健康を保つ大切なポイントだと思います。

寺村 「ウイズ」などの場に来ると情報を得たり、ヒントを得ることができると思います。何か始めるきっかけが、「ウイズ」にあると思います。まずは、気軽に参加し